

人間の悲哀

石川啄木

青空文庫

人間の悲哀とは、自己の範圍を知ることである。生れ落ちた時、私は何も知らなかつた。その時何の悲しみがあつたらう。經驗と教育とは日一日と私の、自己及自己以外の事物に關する知識を廣くし、深くした。——私は日一日と、自己の範圍といふものを一劃々々知つてゆく様になつた。

何の自由、何の領土が人間にある？ 自己の範圍といふものは、知れば知る程小さくなつてゆく、動きのとれぬものになつてゆく。

常に何らかの努力をせねばならぬ人間の運命を、私はしみ／＼と痛ましく思ふ。

青空文庫情報

底本：「啄木全集 第十卷」岩波書店

1961（昭和36）年8月10日新装第1刷発行

入力：蔣龍

校正：阿部哲也

2012年4月15日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

人間の悲哀

石川啄木

2020年 7月18日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>